

## 第2回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和4年10月6日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」では、高齢者が自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。協議会議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

### 第2回協議会の主な内容

- ・ 認知症初期集中支援チームの上半期活動実績報告を行いました。
- ・ 在宅医療・介護連携推進事業上半期実績、多職種連携情報共有システムの運用報告をしました。
- ・ 市の出前講座で好評な終活支援講座の紹介と委員同士で講座の体験をしてもらい、自らのこととして考えるきっかけを作ることができました。

### 課題別ワーキングの報告

#### 「医療・介護連携ワーキング」

市内の介護施設での救急時の対応などの現状や課題を話し合いました。救急隊の方からは、日頃の現場での対応など具体的な話しを聞くことができました。令和元年度に、市内の介護施設にアンケートを実施しているため、今年度もアンケートを実施し、救急医療情報シートと介護施設用シートの活用、救急時の対応等について確認していきます。今後は、アンケート調査の結果をもとに検討していきます。

#### 「多職種連携情報共有システム普及検討部会」

バイタルリンクの普及啓発を行うために方法について話し合いました。徐々に登録する事業所が増えてきていますが、活用していない事業所向けに、今後、体験会を開催する計画を立てています。

#### 「災害ワーキング」

9月に危機管理課、障害福祉課、高齢者福祉課職員で千葉県主催の要配慮者・避難行動要支援者に関する実務研修に参加しました。ワーキングとしてはまだ、取り組んでいませんが、この研修で学んだことを活かし、具体的な取り組みを検討していきます。

### 終活支援講座の紹介と体験

市の出前講座で好評の終活支援講座の紹介をしました。その後、小グループに分かれ、実際講座で行っている「もしバナゲーム」を体験してもらいました。「もしバナゲーム」はカードを使い、自分が余命わずかな想定で、自らの価値観を考えみんなで話し合います。



自ら希望する医療ケアを受けるため、大切にしていることや望んでいること、どのような医療やケアを望むかを前もって話しあう**アドバースケアプランニング(ACP)**について理解を深めることができました。今後も市では色々とところで、市民に周知啓発をしていきます。



人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？


## もしものときのために 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～  
11月30日（土）14時～15時30分 厚生労働省 人生会議の日

誰でも、いつでも、急に変わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、**約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、頼みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。**

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを受けたいかを**自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要**です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」と呼びます。あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような取組は、個人の主体的な思いに基づいて考え、決められるものです。知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newsroom\\_02783.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newsroom_02783.html)

